

内なる対話～「意味ある世間話」となるや、否や?!～

堂本 彰夫

⑮ 「偉人」について?!「凄い人」ではあるが、一方で「普通の上等(人)」にも心が動く?!

I : ここで、突然、いわゆる「偉人」について語ってみたいと思いますが、どうですか?

D : 何でまた、突然、そうしたことを言い出すのですか?何か、ありましたか?先号(⑭)で、「ブルシット・ジョブ Bullshit Jobs」(クソどうでもいい仕事)のことを話題にしたので、その反動みたいなものでもあるのでしょうか?! (笑)

I : いえ、特に理由はありませんが、ふと、そのようなことを、あなたと話をしてみたいと思っただけです!まあ、強いて言えば、我々も、かの「古希」を迎えているわけですので、人の一生とか、何が、その中で大切なのかといったようなことを、自分なりに考えてみたいということですかね?!

D : つまり、自分は、どういう「仕事」、どういう「生き方」をしてきた人間なのか?そういうことなのでしょうが、まさか、あなたも、その「偉人」の一人に加えてもらいたいとか、そういう、不埒なことを考えてのことではないですよ(結果的にはつながっている?)?! (笑)

I : まさか?当然じゃないですか!否、ほんの少しは、そういうことを望んでいるのかもしれませんがね(笑)??いやいやそれはともかく、私が、今何故、改めて「偉人」のことを取り上げたいのかは、強いて言えば、私が、これまで知っている「偉人」は、もちろん、数限りなくいるのですが、この数年間で、それまで、恥ずかしくもまったく知らなかった、また別の「偉人?」に、偶然にも出くわし、その生き様(功績?)に衝撃を覚えたからでしょうね(そういう人達が、真の偉人とも?)?!

D : 具体的には、どういう人達がいるのですか?

I : そうですね、例えば、「玉井金五郎」(その子「火野葦平」の小説/歌「花と龍」の主人公。北九州若松の沖仲仕の総元締め?/故「中村哲」氏の祖父)、「松永安左エ門(安左衛門)」(電力王。改めて、飛んでもない人である!出身は、長崎県の離島、壱岐)、「頭山満」(福岡出身。国家主義者とか大アジア主義者とか書かれてあるが、かの孫文等、当時のアジア各地の民族独立運動家を支援したと言う。)、そういう人達ですかねえ(※ちなみに、彼らは、最近の、私の高校時代の友人との交流から知り得た人達!)?!

D : ある意味、学校教育では教えてくれない?裏に隠れた偉人?そういう人達のような意味では、私の方は、かの「立花隆」氏も加えたいですね!何故なら、彼は、⑥で取り上げましたが、「病」と戦いながらも、最期まで「知の巨人」、そして「総合知」の求道者として一生を終えた?!一般に言う「偉人」とは少し違うかもしれませんが、彼もまたれっきとした偉人?であった?!

I : そうかもしれませんが、この歳になると、そういうダークな?、否々、他人がやらない様なことをして、自志を貫徹した人達に、どこかで惹かれている自分がある?そういうことでしょうかね?!

D : 言い換えれば、これまでの、つまり、「表の、ある意味清らか、否、狭い?世界」である「教育(学)」の分野に身を置いてきた人間としては、彼らとはまったく無縁であった(知らなくても良かった?)自分自身が、少し恥ずかしい?そういうことでもあったのでしょうかね?!

I : 確かに、そうなのかもしれませんね!その大半を、大学という、それこそ狭い、そして閉ざされた(だが、本人には、自由で、安定した生活が保障されていた?)社会(空間)で生きてこられた?!しかし、それとは無縁な、自分の知らない(知る努力をする必要もない?)「偉人?」が、外に数限りなくいたということに、この歳になってはじめて気がついた?!まさに、そういうことでしょうかね?!

D : よくわかりましたが、私は一方で、そうした偉人?に加えて、NPO等を立ち上げ、地道に活動している人達に心が動きます!自らの生活や業態維持に苦慮しながらも、子ども達や地域のために奮闘している、決して「偉人?」ではないが、名もなき「普通の上等(人)」(失礼かな?)に敬意を表したい!社会には、こういう人達の思いと行動が絶対に不可欠だと思うからです! (つづく)